

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第 25 号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメルマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

目 次

1. 群馬産業保健推進センター所長のご挨拶
2. 専属産業医会の報告
3. ビデオ・DVDの貸出しの停止について
4. 産業保健セミナー（1月～2月予定）のご案内
5. その他関係機関の動き

新年のご挨拶

群馬産業保健推進センター
所長 真下 延男

新年明けましておめでとうございます。

みなさま、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、群馬産業保健推進センターの運営につきまして、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、一昨年の経済不況が未だに回復しない中で、群馬県の産業保健を取巻く情勢もまだまだ厳しく、昨年は一般健康診断結果の有所見率が50%を超え、脳・心臓疾患につながる血中脂質や血圧等に係る有所見者が多くみられました。また職場で何らかのストレスを感じている労働者の割合も6割を超え、業務上のストレスからの精神疾患も増加しつつあります。

そのような中で、当群馬産業保健推進センターの果たす役割は非常に大きく、本年度も「メンタルヘルス」「過重労働」に関する問題を中心に、センターとして皆様のお役に立ちたいと考えております。

当センターでは、産業保健にかかわる様々な問題について専門の相談員を配置し、「相談窓口」を設けております。メンタルヘルスに関しては、精神科医、カウンセラー、心理士、労務管理等多彩な分野にわたる相談員が相談に当たっておりますので、職場でメンタルヘルスに関する問題が発生する前にご相談いただければと思います。

さらに、私自身群馬県自殺対策連絡協議会等に参加しておりますが、その中で平成20年の県内の自殺者数は500名を超え、そのうち3分の1は働いている人です。

職場の労働災害の防止はこれまで様々な対策が検討されてきましたが、これからは、職場内でのメンタル不調者を早期に発見すること、自殺者を出さないような対策を考えることが急務と考えています。

群馬産業保健推進センターは、本年も皆様のご支援、ご協力を賜りながら、産業保健に携わる皆様のお力になれるよう努力してまいります。

皆様のご多幸とますますのご発展を心からお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

専属産業医会の開催について

12月15日、当センターのセミナールームにて、群馬県専属産業医会が開催されました。

今回は、6名の専属産業医の先生方が集まり、「新型インフルエンザへの心がまえ」について、倉富先生から講演をいただいた後、新型インフルエンザをめぐる諸問題について意見が交わされました。

この専属産業医会は、年に2回程度会議を開いており、専属の産業医の方であれば、どなたでも参加していただけます。

現在の幹事は、斎藤知子先生と太田圭子先生ですが、事務局は、群馬産業保健推進センター内にありますので、お気軽にお問い合わせください。

ビデオ・DVDの貸出しの停止について

これまで、当センターの業務の一環として、図書・ビデオ等の貸出しを行っていましたが、昨年末を以ってビデオの貸出しは停止することになりました。

突然のことで、ご利用いただいていた皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、諸般の事情により、労働者健康福祉機構本部として全国全てのセンターでビデオの貸出し業務を停止するものであり、残念ではありますが、当センターもビデオの貸出しを停止せざるを得ませんでした。

今後は、当センター内でビデオを視聴することは問題ありませんので、センターを利用してビデオ等による研修等を行っていただくことができます。その際にご相談ください。

(図書・測定機器の貸出しは従来どおり行っていますので、ご利用ください。)

産業保健セミナー（1～2月の予定）のご案内

(1) 第299回セミナー「うつ病の予防と対策」

開催日時 1月14日(木)
開催場所 群馬産業保健推進センター(前橋市千代田町1-7-4)
講師 松澤一夫相談員
内容 近年のストレスの多い社会でうつ病は著しく増加しており、うつ病の正しい理解は職場のメンタルヘルスを考える上で重要なことです。うつ病の症状、治療、予後等を解説し、職場での予防対策についても論じます。

(2) カウンセリング技法(事例検討)

開催日時 1月26日(火) 14:00~16:00
開催場所 桐生商工会議所(桐生市錦町3-1-25)
講師 嶋方 喜斌氏(カウンセリングルーム「雨上がり」主宰)
内容 人間関係の悩みが病にまで進む現代人を見据え、カウンセリングの基本である「傾聴」、「うつ」に対する認知行動療法、「不安」に対する森田療法などの事例と交えながら、人と人との関連性の大切さを考えてみたいと思います。

(3) 有機溶剤業務の安全衛生管理

開催日時 2月4日(木) 14:00~16:00
開催場所 太田社会教育総合センター(太田市熊野町23-19)
講師 柿沼泰明相談員
内容 有機溶剤の性質(危険性、有害性)と取り扱い上の注意点を中心に、健康障害を防止するための作業環境における管理のポイント(主に局所排気装置について)と保護具(主に防毒マスクについて)の管理と使用上の注意点等について説明する。

(4) 「THPデモンストレーション事業」の運動指導の解説と実技

開催日時 2月16日(火) 14:00~16:00
開催場所 財団法人東日本労働衛生センター(伊勢崎市戸谷塚町629-1)
講師 中山伸二氏(東日本労働衛生センター 北関東支部 ヘルスケア・トレーナー、心理相談員)
内容 肥満や喫煙など現代人の働く人を取りまく様々な健康の課題に、職場としてどのような対応をしたら良いか分からない事業場は多いのではないのでしょうか。

働く人の心とからだの健康づくり(THP)は、継続的に取り組むことにより、これらの問題を長期的に解決していくものです。今回は「THPデモンストレーション事業」としての運動指導を中心としたメニューをご用意し、利用方法の説明と体力測定等の運動指導を体験していただくことにしています。

大切な従業員の健康づくりのきっかけに活用してください。

<3月以降の予定>

- | | | |
|---------|--------------|------------------------|
| ① 3月8日 | 「栄養指導の実際」 | 野口泰子氏
太田市社会教育総合センター |
| ② 3月16日 | 「衛生管理活動の活性化」 | 都丸和憲氏
伊勢崎市文化会館 |

開催日時、セミナーの内容、講師、開催場所の順に記載しました。開催時間は全て14時から16時です。お近くの会場で参加してください。

＜申し込みに当たってのお願い＞

これまで、セミナーの開催日間近に、会場周辺の皆様に「セミナー開催のお知らせ」の文書をファックスで流していましたが、これからはファックスができない場合もありますので、可能な限りホームページやメルマガでセミナーの開催日時等を確認して、早めに申し込みをお願いいたします。

その他関係機関の動き

- * 平成20年度における石綿による健康被害に係る給付の請求・決定状況が、厚生労働省から発表

12月3日、平成20年度における石綿による健康被害に係る給付の請求・決定状況の確定値が公表されました。

この結果によると、労働者災害補償保険法の保険給付に係る請求件数は1,326件、支給決定件数は1,114件でした。

詳細は厚生労働省のホームページでご覧になれます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000002vku.html>

- * 平成20年度石綿ばく露作業による労災認定等事業場一覧表を公表

12月3日、平成20年度において石綿ばく露作業による労災の認定を受けた労働者が所属していた事業場等が厚生労働省から公表されました。

詳細は、次のホームページからご覧になれます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000002uzk.html>

- * 厚生労働省 定期健康診断の対象を見直す案をまとめる

（「労働安全衛生規則の一部を改正する省令案要綱」「労働安全衛生規則第44条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める基準を定める告示の一部を改正する告示案等要綱」の労働政策審議会に対する諮問と同審議会からの答申について）

厚生労働省は、定期健康診断での実施を義務付けている胸部エックス線検査について、対象者を見直すための省令の改正案をまとめました。

改正案によりますと、40歳以上と5歳ごとの節目の年齢に実施し、それ以外には医師が必要ないと認めた場合には検査を省略できることとなります。施行期日

は平成 22 年 4 月 1 日の予定です。

詳細は <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000036uo.html>

＊ 「喫煙対策担当者研修会」の開催について

開催日 平成 22 年 3 月 3 日（水）
午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分
会 場 勢多会館（前橋市南町 4－3 0－3）
主 催 社団法人群馬労働基準協会連合会 群馬快適職場推進センター
内 容 労働衛生行政と喫煙対策の推進計画
分煙方法及び「たばこ煙と風速」の簡易測定の実技、質疑応答
募集人員 30 名
参加費 無料
締め切り 平成 22 年 2 月 22 日
申込先及びお問い合わせ
社団法人群馬労働基準協会連合会 群馬快適職場推進センター
電話 027-233-3582

＊ 「心の健康づくりシンポジウム」のお知らせ（再掲）

開催日 平成 22 年 1 月 12 日（火）
会 場 東京国際フォーラムホール B 7
主 催 厚生労働省・中央労働災害防止協会
内 容 シンポジウム「新しいうつ」と職場のモチベーション
座 長 : 野村総一郎（防衛医科大学校病院 副院長）
シンポジスト : 井上賀晶・綿貫良彦・山口律子・水島郁子
特別講演「最近の若い労働者の心の健康問題」
樋口 輝彦（国立精神・神経センター総長）
申 込 参加申込書をファックス又は郵便で送付（10 月 20 日受付開始）
中央労働災害防止協会のホームページでご覧になれます。
<http://www.jisha.or.jp/>

＊ 産業保健関係者に対する感染症対策に関する研修のご案内

主 催 財団法人産業医学振興財団
対 象 産業医・衛生管理者・保健師等産業保健関係者
及び人事労務担当者
開催日・会場
東京会場 平成 22 年 3 月 4 日（木） 芝パークホテル
名古屋会場 平成 22 年 2 月 18 日（木） KKR ホテル名古屋
大阪会場 平成 22 年 2 月 4 日（木） ホテルコムズ大阪
福岡会場 平成 22 年 2 月 25 日（木） 博多エクセルホテル東急
定 員 各会場 75 名程度
参 加 費 無料（日本医師会認定産業医制度の指定研修として申請中）

講習時間・内容

13:30～13:40 開講挨拶（開催地の都道府県労働局）

13:40～15:10 職場におけるウイルス肝炎対策

15:20～16:50 職場におけるエイズ・ノロウイルス・結核対策

申込方法 インターネット又はファックス（先着順に受け付けます）

問合せ先 財団法人 産業医学振興財団 企画課

東京都港区赤坂2-5-1 東邦ビル3階

電話 03-3584-5429 fax 03-3584-5426

ホームページ <http://www.zsisz.or.jp/>

＊ 平成22年度 産業保健実践講習会開催のご案内

対象者 医師、保健師、看護師、衛生管理者、衛生推進者等

単位取得 日本医師会認定産業医制度医学研修の単位（基礎又は生涯）

研修科目 過重労働対策の進め方

新型インフルエンザ対策の構築の実際

健康診断の事後措置

メンタルヘルス事例研究

開催日程 平成22年5月23日（日） 9:00～16:30

神奈川県総合医療会館（横浜市中区富士見町3-1）

定員 200名

受講料 10,000円

申込期間 平成21年2月1日から4月23日

（他に大阪会場、名古屋会場、福岡会場、岡山会場でも開催されます）

申し込み・問合せ先

財団法人 産業医学振興財団 企画課

東京都港区赤坂2-5-1 東邦ビル3階

電話 03-3584-5429 fax 03-3584-5426

ホームページ <http://www.zsisz.or.jp/>

＊ 平成21年度年末年始無災害運動の実施要領

中央労働災害防止協会が主唱する平成21年度年末年始無災害運動の実施要領が公表されました。

スローガン 「ゆるむ気持ちを引き締めて 年末年始も無災害」

実施期間 平成21年12月15日から平成22年1月15日

<http://www.jisha.or.jp/campaign/musaigai/index.html>

＊ 群馬県特定最低賃金（産業別最低賃金）が改正になりました。（各業種とも時間当たり3円上がりました）

群馬県製鋼・製鋼圧延業、鉄素形材製造業最低賃金

時間額 787円

群馬県ポンプ・圧縮機器、一般産業用機械・装置、その他のはん用機械・同部分品、金属加工機械、その他の生産用機械・同部分品、事務用機械器具、

サービス用・娯楽用機械器具製造業最低賃金

時間額 777円

群馬県電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業最低賃金

時間額 775円

群馬県輸送用機械器具製造業最低賃金

時間額 777円

発行年月日 平成 21 年 12 月 30 日

対象の産業は、日本標準産業分類によります。

詳細は群馬労働局のホームページでご覧になれます。

<http://www.gunmaroudoukyoku.go.jp/>

~~~~~  
今年寅年です。

寅年といえば阪神タイガースと六甲おろしです。というのは、我が家の息子が大の阪神タイガースファンで、小学生時代には縞模様の帽子を被って、バットを振りながらタイガースの応援歌「六甲おろし」を歌っていたので、寅といえば縞模様の阪神タイガースと元気いっぱい六甲おろしと繋がってしまうのです。

新しい年を迎え、今年も頑張りたいところですが、なかなか景気が上向かず、企業で衛生関係を担当している皆さんは、経営者と衛生管理のハザマでご苦労が多いと思います。

でも、頑張ってください。所長の挨拶にもありましたが、労働者を取巻く情勢は厳しく、企業では安全はともかく衛生に目を向ける余裕がなくなっています。今まで以上に職場の労働衛生は皆さんの肩にかかっています。まず、ご自分の健康管理に気をつけて、そして職場の衛生管理をよろしくお願いいたします。

当センターも景気悪化の波を受け、研修の参加者は少なくなり、相談者も増えず、更に予算の削減もあり厳しい1年になりそうですが、「六甲おろし」ならぬ「赤城おろし」を口ずさみながら、気合を入れて頑張ろうと思っています。(阪神タイガースファンではないのですが・・・)

=====  
<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

[sanpo10@gummasanpo.jp](mailto:sanpo10@gummasanpo.jp)  
=====

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966